

03

基本計画
くらしを守る

生活基盤の整備と環境保全で世代を超えて安心できるまちをつくる 誰もが安心できる心地よいふるさと

安心して暮らしていくためには様々なインフラが整っている必要があります。

人口・世帯の減少を踏まえながら、情報インフラの整備など

6つのテーマで取り組みます。



03

基本計画
くらしを守る

1. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承

町内のすべての施設を維持・管理していくことが困難となる中、それぞれの緊急性・重要性を踏まえ、施設の維持・修繕に取り組みます。また、施設の縮減を進める上でも、長寿命化に向けたテクノロジーの活用、最適な配置・管理のあり方を検討していきます。

○ 次代につなぐインフラ強靱化

将来に過度な負担を強いることなく、効率的に運用していくことを前提に最大限のインフラ強靱化に努めます。

○ 道路交通などの既存インフラの維持

道路や水道など生活に必要な既存インフラの維持・メンテナンスを推進し、サービス等が中断されることのないよう努めます。

○ 町有資産の利活用を推進

町有資産を休眠させることなく、効果的に活用していくための環境整備とあわせ、地域や事業者からの提案を受け付けます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 町道・歩道等の満足度	19.5%	30%

03

基本計画
暮らしを守る

II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保

豊富な地下水・水資源を引き続き確保し、将来にわたり安定した供給が行われるよう水源地となる森林環境等保全の必要性を広く周知するとともに、特別天然記念物「オオサンショウウオ」に代表される生物多様性の保全にも取り組みます。

○ 上下水道施設の管理・整備の推進

上下水道の効率的な運用と適切な管理により、長期的に安定した水の供給に努めます。

○ 水源確保・施設機能の強化

水源地の確保・整備と施設機能の強化により、有収率の向上に努めます。

○ 水源地保全等に関する広報

安心して使用できる水の確保のための水源地の保全・管理についての重要性を広報活動を通じて周知していきます。

○ 山・川の調査等による自然環境の維持

山や川の生き物調査等に取り組むことで、守るべき自然環境の現状を整理し、今後の活用に向けた基盤とします。

おいしい水



そういえば
「水源地」って
どこに!?

有収率とは... 浄水場から送り出した総配水量のうち、水道料金の対象となる「有収水量」が占める割合のことです。水道事業の経営効率や漏水の少なさを示す指標で、数値が高いほど効率的に水が届いていることを意味します。

目標・指標	現状値	目標値
① 汚水処理人口普及率	92.7%	95%
② 有収率	70.2%	80%
③ 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	82.2%	85%

03

基本計画
くらしを守る

III. 町民の生命と財産を守る—災害・獣害を防ぐ地域の備え

町民の生命と財産を守るため、防災対策・治水対策に引き続き取り組み、農林水産業における鳥獣被害の防止、生産意欲の維持・向上のための取り組みを推進します。

○ 森づくり等を通じた防災・減災の推進

気候変動等に伴う線状降水帯の発生など局地的な災害リスクの高まりが懸念されています。生命と財産を守るため、防災に関する施設整備・点検等に取り組み、現状の山林における適切な間伐、広葉樹の植林や混交林化を推進し、豪雨災害等の予防に努めます。

○ 自主防災組織の活動支援、防災知識を持った人材育成

関係機関と連携しながら、自主防災組織の活動支援のための取り組み、地域の中での防災士資格取得、人材育成等を推進します。

○ 暮らしや生業を鳥獣から守る取り組みの推進

近年の鳥獣等による被害は農業への影響のみならず、人的な被害にもつながり、地域での暮らしをおびやかしています。生涯現役で農林水産業に従事できるよう、また、子どもたちが安心して登下校できるように被害防止と鳥獣害に強い地域づくりに取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 防災対策がしっかりしていると感じる	21.8%	50%

03

基本計画
暮らしを守る

IV. 誰もが利用しやすい超高速通信インフラの展開

中山間地域に属する邑南町のような場所でも、テクノロジーの活用は不可欠であると考え、情報通信施設の維持やセキュリティの確保等、情報インフラの整備を推進します。

○ 情報通信施設の維持、機器の更新

町内の通信基盤である「おおなんケーブル」の施設維持や機器の更新、セキュリティの確保などに取り組み、安心してインターネットを利用できる環境を整えます。

○ ニーズに対応したインターネット環境の整備推進

情報通信コンテンツのデータ流通量が増大していく中、生活や業務でのインターネットサービス利用に支障をきたすことのないよう、超高速インターネット環境整備の検討を行っていきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



目標・指標	現状値	目標値
① 仕事や日常生活でデジタルサービスを利用しやすいと感じる	17.5%	35%
② 超高速インターネット環境の整備	—	提供開始

03

基本計画
くらしを守る

V. スマート化による効率的な地籍調査

毎年進めている地籍調査については引き続き年間進捗率を維持し、調査の高度化・スマート化にも取り組んでいきます。

○ 地籍調査の実施

調査の高度化による地形データの収集・整理リモートセンシング等を活用し、鉄穴流しの歴史等について地形データ等を整理して活用につなげます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

目標・指標	現状値	目標値
① 地籍調査進捗率(年間)	1%	1%

03

基本計画
暮らしを守る

VI. 住まいづくりと空き家活用で移住・定住支援

既に邑南町にお住まいの方も含め、Uターン、Iターン移住を検討されている方などを対象に町内の住宅や宅地の確保などの定住支援に取り組みます。

○ 移住希望者が暮らしを体感できるプログラムの提供

邑南町への移住を検討されている方向けに「移住体験プログラム」を提供し、移住後の暮らしの具体的なイメージを持っていただくことで、ミスマッチ等を防ぎ、その後の定住促進につなげます。

○ 空き家対策等の推進による社会増

空き家等の活用・流動化を促進し、移住・定住促進と合わせた利活用を推進します。

○ 危険空き家の除却等による地域の安心づくり

人家に近い危険空き家等の除却に向けた取り組みを推進します。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標	現状値	目標値
① 住宅相談センターにおける相談人数	48人	55人
② 適度な費用で住居を確保できる	28.7%	40%

03

基本計画

つながりを深める

多文化共生・持続的なコミュニティづくりで地域で暮らし続けられる環境を創出する

多様なつながりが生み出す信頼が循環する町

地域の中でのつながりは、この町で生活する上での基盤であり、活力の源です。

そのつながりを深めるため7つのテーマで取り組みます。



03

基本計画
つながりを深める

1. 多様な力を結集した地域コミュニティの育成

これまでの「夢づくりプラン」、「地域コミュニティ再生事業」、「地区別戦略実現事業・発展事業」など 邑南町ならではの地域自治の取り組みを次のステップである「地域運営組織」形成につなげるため、設立支援や情報発信、交流の場づくりを行っていきます。

○ 「地域運営組織」形成および運営支援

「地域運営組織」形成を支援し、自治会や地区単位で設置されている組織の統合など、新しい時代の地域運営を担う基盤づくりを推進し、様々な意見を地域運営に反映できる仕組みづくりに取り組みます。

○ 地域マネージャーの配置と育成の支援

「地域運営組織」の認定を受けた地区には、引き続き地域マネージャーの配置を可能とし、安心して地域運営に取り組める環境整備を進めるとともに、研修等を通じた地域マネージャーのスキルアップを支援します。

○ ふるさと納税(寄附)の充実

ふるさと納税(寄附)等に「地区を応援する」メニューを盛り込むことで、地区ごとの努力次第で活動資金等が得られる仕組みづくりに取り組みます。

○ 「住民会議」等の交流の場づくりを推進

町民との新たなパートナーシップのあり方のひとつとして、毎年のテーマごとに「住民会議(無作為選出による対面型の意見交換の場)」を開催し、町民の声を直接町政に届ける機会とします。

地域運営組織



「地域運営組織」って
なんなん？

目標・指標	現状値	目標値
① 自分だけでなく身近な人・周りの人も楽しい気持ちでいると思う	25.3%	40%
② 暮らしている地区の雰囲気は、自分にとって心地よい	51.1%	70%
③ 地区は女性が活躍しやすい雰囲気がある	15.5%	30%
④ 地区は若者が活躍しやすい雰囲気がある	19.5%	30%

03

基本計画
つながりを深める

II. 地域での暮らしをあきらめない医療・福祉の推進

児童・高齢者・障がい者福祉の観点から、住み慣れた地域で暮らすことを望む誰もが、それを実現できるよう、多角的な支援に取り組みます。

○ 地域と連携した生活支援等の体制整備

「地域運営組織」の体制づくりにあわせて、地域の中でのゆるやかな見守り体制や生活の困りごとが解決できるような仕組みづくりを進めます。

○ 安心して暮らし続けるための医療福祉従事者の確保

医療福祉法人等とともに、互いに連携し、医療福祉従事者の確保、育成に向けた体制づくりに取り組みます。

○ わかりやすい福祉情報の発信

福祉に関する様々な情報が必要とする方に行き渡るよう、よりわかりやすい福祉情報の発信に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 2、3年先の暮らしの見通しが立つ	—	50%

03

基本計画
つながりを深める

III. 外国人も含めた多文化共生のまちづくりを推進

この町に住む誰もが「共に暮らす一員」、「社会を構成する一員」であることを肯定的に感じられるよう、年齢・性別・国籍などの様々な違いを乗り越えた多文化共生社会づくりを推進します。

○ 多文化共生の推進

移住者や外国人世帯の増加などを背景に、一人ひとりの権利を守りながら、多様な文化や価値観を認め合い、自己決定できることを支援していきます。

○ 若者や女性にも選ばれる地域づくり

「地域運営組織」等との協働により、次の時代を担う若者や女性が望んで住みたい、働きたいと思ってもらえるような地域づくりに取り組みます。

○ 多様な人材がつながり、活躍できる環境の実現

移住者や外国人世帯の増加を踏まえ、町民一人ひとりが尊重され、特性・個性に応じた社会参加ができるような共生社会の実現に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 住んでいる地区に愛着を感じる	49.4%	60%
② どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	18.3%	30%
③ 同じ町内に住む人たちを信頼している	52.9%	70%

03

基本計画
つながりを深める

IV. 使いやすい交通手段・移動支援の仕組みづくり

既存の公共交通体系に加え、民間事業者や地域との連携強化により、町民の移動ニーズに対応し、物流危機に対する支援のあり方なども検討を進めます。

○ 官民協働による小さな拠点・交通結節点の整備

12地区単位での移動手段の確保とあわせて、地区間の連携が円滑に進むよう支援を行っていくとともに、交通結節点の整備など公共機能の充実を図っていきます。

○ 持続可能な生活交通システムづくり

町営バス等の公共交通機関だけでなく、民間事業者とも連携を図りながら、町全体の交通・移動が誰にとっても担保される環境づくりを推進します。

○ 移動支援・交通支援の仕組みづくり

通勤・通学以外の地域における移動ニーズは、主に通院や買い物ですが、こうした生活に不可欠な移動に関する支援の検討を進め、新たな仕組みづくりに取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 日常の買い物に不便がない	25.3%	40%
② ネット通販、業務上の郵送等物流に不便がない	—	50%
③ 買い物・通院等で必要な移動が問題なくできる	6.9%	30%

03

基本計画
つながりを深める

V. 災害からしなやかに立ち上げられる防災体制づくり

邑南町ならではの「地域とのつながり」が、いざというときの「助け合い」の力になります。日常的な互助・共助の充実を図るとともに、災害が生じて、しなやかに立ち直るためのレジリエンス（災害発生時や復旧時の迅速かつ柔軟な対応）の強化を推進します。

○ 災害対応体制の構築・拡充

災害を想定し、社会福祉協議会等の関係機関との連携体制について定期的な確認を行い、災害発生時や復旧時に迅速かつ柔軟な対応を行うための基盤構築に努めます。

○ 防災DXの推進

緊急時に被害状況等の情報共有が滞りなく行えるよう、防災面からのDXを推進します。

○ 自治体間の広域連携の推進

豪雨災害や南海トラフ巨大地震等の広域災害においては、自治体間の連携が復興の観点からも重要であり、国・県および近隣自治体等とも連携をとりながら、自治体間の広域連携の推進に努めていきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 防災対策がしっかりしていると感じる	21.8%	50%
② 集落や地区の人が困っていたら手助けする	55.8%	70%

03

基本計画
つながりを深める

VI. 環境衛生の推進と循環型社会の実現

循環型社会の実現に向けて、邑南町では3Rの取り組みをはじめ、薪ボイラーや太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を推進しています。

○ ゴミの削減等による環境負荷低減の取り組み

3Rの活動のうち、特にリデュース=ごみの削減、リユース=再利用に重点を置き、ゴミの排出量削減による環境負荷低減の取り組みを推進します。

○ 再生可能エネルギーの活用を推進

自然環境の保全や景観に配慮しながら、木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用促進・啓発に努めます。また、その他の再生可能エネルギーの導入についての調査・研究を進めます。

3R(スリーアール)とは...「Reduce=ごみを減らす、Reuse=繰り返し使う、Recycle=資源として再生する」の3つの活動により環境負荷を抑える取り組みを指します。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 一般廃棄物の排出量	2,502 t	2,310 t
② リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	16%	30%

03

基本計画
つながりを深める

VII. DXの推進による利便性の高いまちづくり

デジタル技術の活用により地理的制約を解消し、邑南町の豊かな自然環境と仕事を両立できる基盤を整備します。また、様々な場面での業務効率化につなげていきます。

○ 全町的なDX推進による業務の効率化

全町的なDX推進による各種行政サービスのオンライン化や教育支援の充実、災害時対応の迅速化などを念頭に、データの蓄積・共有・分析等を横断的に行うための環境整備について検討を進めます。

○ AI等のデジタル新技術の活用

様々な分野で担い手不足が深刻となっている本町においては、安定的なサービスの維持と利便性の向上、更なる業務の効率化に向け、AI等のデジタル新技術の活用を推進していきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 行政サービスのデジタル化が進んでいる	17.2%	30%

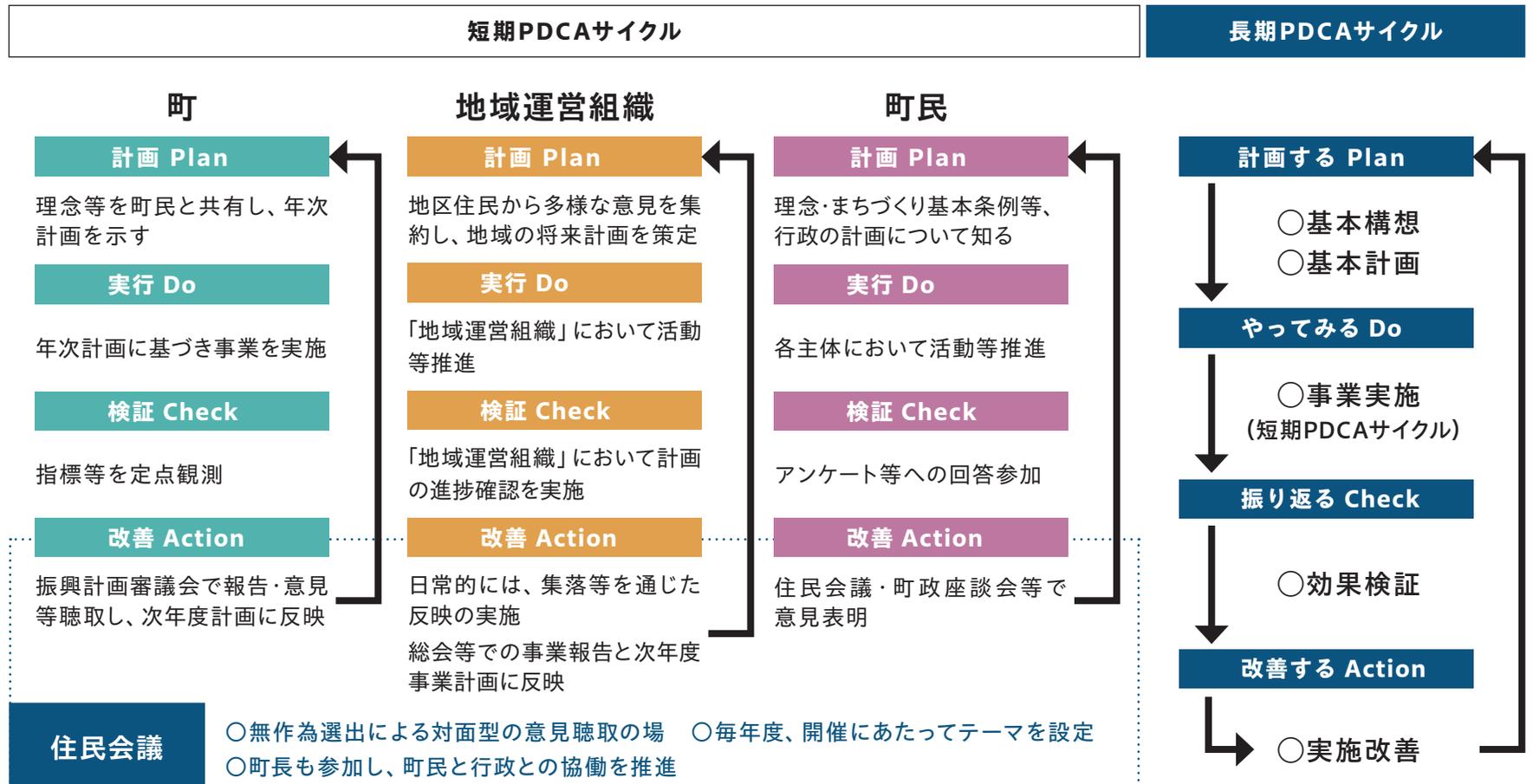
04

計画の実現
に向けて

推進体制と検証方法 ①

町と町民が協働で進める邑南町のまちづくり

短期（1年単位）と長期（5～10年単位）でのPDCAサイクルを回して、より効果的な施策・事業展開ができるように体制を整備し、理念である「地域とつながり、挑戦を育む町」の実現を目指します。



04

計画の実現
に向けて

推進体制と検証方法²

町の役割

1 「旗」を立て、町民と協働で推進する

- 旗（町として目指したい方向性）を町民に丁寧に説明する
- 多様なかたちで地域や各種団体等の活動を支援する
- 地域自治に関しては「地域運営組織」に具体的な方法論を委任する

2 町民本意で事業を評価し、結果を庁内で共有する

- WEBアンケート調査「おおなん活力インデックス（略称：ODI）」を毎年実施する
- 幸福度などの結果や課題を庁内各課や関連団体等と共有する
- 改善に向けた検討を行う

3 「住民会議」等で一人ひとりの思いを聞く

- 無作為選出による対面型で思いを聞く機会をつくる
- 結果は広く共有し、参加したくなるように充実させる

4 振興計画審議会を通じて振興計画全体の進捗評価する

- 「住民会議」やWEBアンケートの調査結果を振興計画審議会に報告する
- 振興計画審議会で得た意見等を庁内各課で協議し、進捗評価と改善につながる仕組みを構築する

04

計画の実現
に向けて

推進体制と検証方法³

地域運営組織の役割

1 多様な声を集約し、地域としての将来計画を策定

- 町が示す方向性(旗)を踏まえて、地域としての方向性を検討・提示する
- 行政等が開催する研修会・講演会等へ積極的に参加する

2 将来計画に基づき活動・事業を推進

- 各地区のおかれた環境、資源(ひと・もの・こと)等を踏まえて取り組みを実践する
- 成果や課題を報告会等で町と共有する

3 「地域運営組織」内で将来計画の進捗を確認

- 計画に対して、どのような効果と課題が得られたかを検証し、地域内で共有する
- 地区内向けの情報発信によって取組状況を周知・共有する

4 総会等による定期的な計画の見直しと改善

- 集落等を通じて意見等を集約する
- 総会等での事業報告・次年度計画等に反映させる

04

計画の実現
に向けて

推進体制と検証方法 4

町民の役割

1 町の方針を知る、学ぶ

- 町が示す方向性(旗)について、「自分ごと」として向き合う姿勢を持つ
- 行政等が開催する研修会・講演会等へ積極的に参加する

2 町と協働し、地域とつながる

- 町が示す方向性、それぞれの環境・状況等を踏まえて取り組みを実践する
- 成果や課題を町と共有する

3 一人ひとりが挑戦する

- 大人は挑戦するいきいきとした姿を子どもたちに見せ、応援する
- 子どもは何かひとつでも自分なりの挑戦に取り組む

4 効果検証・評価の仕組みに参加する

- 住民会議(無作為選出)へ積極的に参加する
- WEBアンケート調査(おおなん活力インデックス)への回答に参加する



QRコード

04

施策ごとのKGIへの寄与

*=戦略的重点プロジェクト

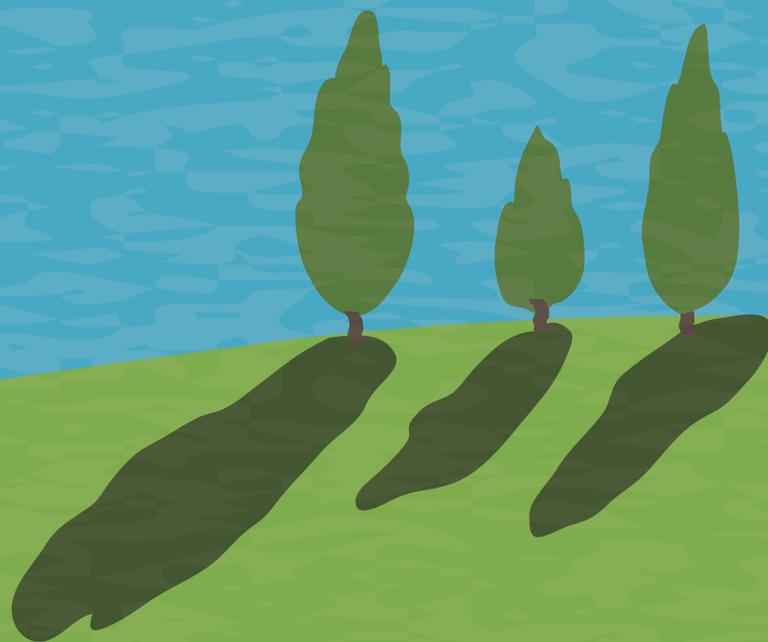
計画の実現
に向けて

柱	取組の方針	具体的な施策	出生増	移住増	流出減	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと	
ひとを育てる	I. 地域社会で共に育てる「子育て環境」の向上	妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実	●	●		●	●	●			
		愛着形成の促進と豊かな遊びと体験機会の充実			●			●	●		
		幼児期の教育・保育の充実			●			●	●		
	II. 幼少期からの健康づくりで心も身体も大事にケア	総合的な食育の推進								●	
		生涯を通じた健康施策の推進	●			●	●	●	●	●	
		スポーツを通じた健康増進の取り組みを推進								●	
	III. 学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進*	「おおなん学」の確立・推進			●	●					
		子どものロールモデル・マッチング			●	●					
		子どもが安心して過ごせる環境づくり			●	●			●	●	
	IV. 邑南町の教育にあった学校の在り方の研究・実現	町の自然・文化の研究と発信			●	●			●		
矢上高校・石見養護学校の魅力化推進		●	●	●	●		●	●			
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実			●	●	●			●			
V. 地域での活躍を後押し—邑南町の未来を描く学び	多様な学びの選択肢の確保・充実		●	●				●			
	地域におけるデジタル人材の育成・確保の推進							●		●	
	各種コーディネーターのネットワークづくり							●	●	●	
VI. 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実	町内外の人材還流促進			●	●						
	公民館等を生かした社会教育の充実							●			
	人権・同和教育の啓発・推進							●	●		
しごとを伸ばす	I. テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業*	農林水産業のスマート化を推進		●	●					●	
		高収益作物の導入		●	●			●		●	
		担い手の確保・育成		●	●						●
		地域での農地維持のあり方検討と圃場等整備		●	●						●
	II. 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立	森林の集約化による森林整備の推進			●	●					●
		町内産木材利用の促進									●
		企業・町民・行政の三者連携による林業DXの推進			●	●					●
	III. 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援	「おおなん相談所」を中心とした事業者支援	●								●
		地域内での経済循環の拡大				●					●
		起業・創業しやすい環境整備支援									●
	IV. 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及	観光情報の多言語対応推進による満足度向上							●		●
		観光コンテンツの開発									●
		観光DXの推進									●
	V. 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用	「神紅」の産地化とブランド力の向上			●						●
		「神楽」を生かしたコンテンツ力の向上			●	●					●
		邑南町への多様な関わりしるの充実			●						●
		おおなんブランドで新たな産業の創出			●	●					●
	VI. 邑南町の自然を守り・生かす—環境産業の推進	森林資源の付加価値化			●				●		●
エネルギーの地産地消による経済基盤の確立										●	
邑南町らしい里山景観の保全								●			
VII. 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援	多様な人材の確保			●	●			●		●	
	女性や子育て世代が活躍できる環境づくりを推進				●			●		●	
	進出企業会との連携強化・企業誘致	●	●	●		●	●	●	●	●	
VIII. 事業承継・組織連携・人材確保を通じた事業継続支援	事業継続に向けた人材確保									●	
	異業種連携コーディネート機能の強化									●	
	農林水産業の後継者確保・育成支援									●	

柱	取組の方針	具体的な施策	出生増	移住増	流出減	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと	
くらしを守る	I. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承	次代につなぐインフラ強靱化						●			
		道路交通などの既存インフラの維持						●			
		町有資産の利活用を推進							●	●	
	II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保*	上下水道施設の管理・整備の推進		●	●				●		●
		水源確保・施設機能の強化							●		●
		水源地保全等に関する広報							●		
	III. 町民の生命と財産を守る 一災害・獣害を防ぐ地域の備え	山・川の調査等による自然環境の維持							●	●	
		森づくり等を通じた防災・減災の推進							●		
	IV. 誰もが利用しやすい 超高速通信インフラの展開	自主防災組織の活動支援、防災知識を持った人材育成							●		
		暮らしや生業を鳥獣から守る取り組みの推進							●		
	V. スマート化による効率的な地籍調査	情報通信施設の維持、機器の更新		●					●		●
		ニーズに対応したインターネット環境の整備推進		●					●		●
VI. 住まいづくりと空き家活用で 移住・定住支援	地籍調査の実施									●	
	移住希望者が暮らしを体感できるプログラムの提供		●	●				●		●	
	空き家対策等の推進による社会増							●	●		
つながりを深める	I. 多様な力を結集した 地域コミュニティの育成*	危険空き家の除却等による地域の安心づくり		●	●	●		●			
		「地域運営組織」形成および運営支援						●		●	
		地域マネージャーの配置と育成の支援		●	●					●	
		ふるさと納税(寄附)の充実						●			
	II. 地域での暮らしをあきらめない 医療・福祉の推進	「住民会議」等の交流の場づくりを推進							●		
		地域と連携した生活支援等の体制整備			●				●	●	
		安心して暮らし続けるための医療福祉従事者の確保			●				●	●	
	III. 外国人も含めた 多文化共生のまちづくりを推進	わかりやすい福祉情報の発信							●	●	
		多文化共生の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		若者や女性にも選ばれる地域づくり	●	●		●	●				
	IV. 使いやすい交通手段・移動支援の 仕組みづくり	多様な人材がつながり、活躍できる環境の実現		●					●		●
		官民協働による小さな拠点・交通結節点の整備			●				●		●
持続可能な生活交通システムづくり		●	●	●	●	●				●	
V. 災害からしなやかに立ち上がれる 防災体制づくり	移動支援・交通支援の仕組みづくり				●			●			
	災害対応体制の構築・拡充							●			
	防災DXの推進							●			
VI. 環境衛生の推進と 循環型社会の実現	自治体間の広域連携の推進							●			
	ゴミの削減等による環境負荷低減の取り組み							●			
VII. DXの推進による 利便性の高いまちづくり	再生可能エネルギーの活用を推進		●					●		●	
	全町的なDX推進による業務の効率化		●	●				●		●	
		AI等のデジタル新技術の活用						●		●	

* = 戦略的重点プロジェクト

要素	出生数 (+)	移住者数 (+)	流出抑制 (+)	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと
KGI	① 総人口 8,000人			② 15歳未満人口比率 9.3% (744人)		③ 町民の幸福度 100% (現在値: 90.1%)		



邑南町役場 電話 0855-95-1111 (代表)

〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000番地

URL <https://www.town.ohnan.lg.jp>